

『日本の未来図』の運用状況について

日本の未来図(米ドル投資型)/(円投資型)
追加型投信／国内／株式

2015年3月20日

当ファンドでは、少子高齢化や資源・エネルギー問題、インフラの老朽化など、わが国が抱える諸問題に対して、従来の常識を超えた発想からなる『ものづくり』、『技術革新』によって、難局を乗り越えることに貢献する企業の株式に投資します。当レポートでは、組入れ上位銘柄の中から、2銘柄をご紹介します。

■デンソー（輸送用機器）

2013年に閣議決定された『世界最先端IT国家創造宣言』では、2018年を目途に世界の道路交通社会を実現するとしており、交通事故の危険や交通渋滞を回避できる技術の開発が進められている。同社はカメラやミリ波レーダー等を用いて自動車の周辺状況を把握する技術、周囲の自動車、衛星との通信を活用した自動追従走行等の技術、居眠り運転を防止する運転者監視技術など、多様な技術を持ち、エレクトロニクス化が進む未来の自動車市場を牽引していく力があると判断。

デンソーの高度運転支援技術

高度運転支援デモ

車車間の無線情報通信を活用し、先行車両の位置情報を使い、
・安心できる適切な車間距離で自動追従走行
・先行車の急停車に反応して安全停車

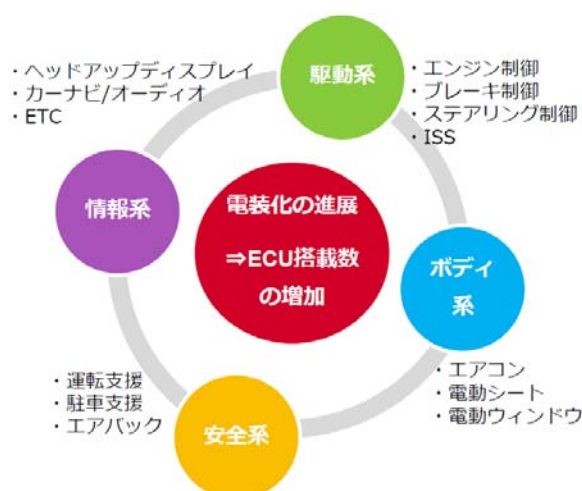


（出所）デンソー『2015年3月期 第2四半期 決算説明会』

■村田製作所（電気機器）

電子部品等を開発・生産・販売。多様な動作をコンピュータ（電子制御ユニット（ECU））で制御する自動車が増加する中、同社の関連製品の売上高は増加傾向。ECUはエンジン制御、エアコン制御などのほか、運転支援や駐車支援など、今後、技術開発が進むと考えられる領域での使用が見込まれる。ECUに搭載される電子部品には、高温や振動、電子機器から発生するノイズなど、過酷な環境下でも性能を維持する必要があるため、同社の品質の高い電子部品は、高い成長が続くポテンシャルを有していると判断。

電子制御ユニット（ECU）



（出所）村田製作所『Information Meeting 2014』

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本の未来図（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本の未来図(米ドル投資型)/(円投資型)
追加型投信／国内／株式

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの概要

(2015年3月19日現在)

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	11,830円	10,948円

(※) 基準価額は1万口当たりです。

(2015年3月19日現在)

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	93.4%	93.1%
マザーファンド	96.8%	96.5%
為替予約比率	94.2%	---

(※) 株式組入比率は、日本未来戦略マザーファンドを通じた、株式の実質組入比率です。

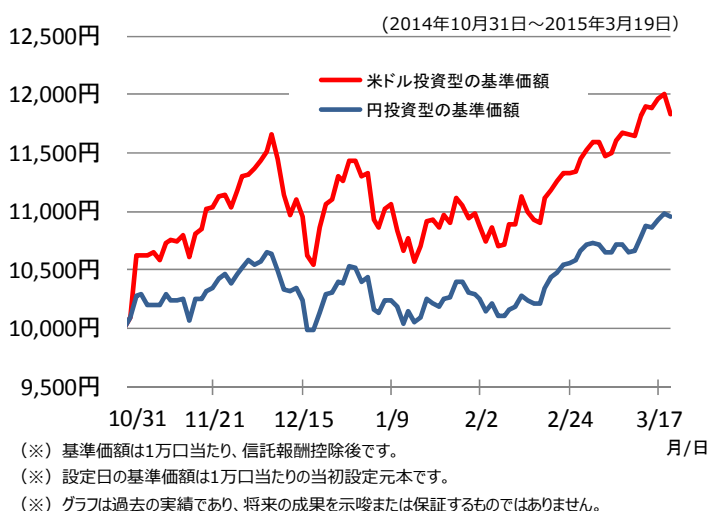
(※) 為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

(2015年3月19日現在)

	日本未来戦略マザーファンド
株式組入比率	96.5%
組入銘柄数	41銘柄

(※) 株式組入比率は、日本未来戦略マザーファンドにおける、株式の組入比率です。

基準価額の推移



株式組入上位10銘柄

(2015年3月19日現在)

順位	銘柄名	業種	組入比率
1	オリエンタルランド 2014年3月期は訪日客の10%強にあたる122万人が東京ディズニーリゾートに来園。前期比で約7割増加。	サービス業	4.7%
2	デンソー 自動車の自動運転に関する技術を総合的に保有している点に注目。	輸送用機器	4.4%
3	クボタ 電子地図による農場管理や作物情報を活用するツール、農作業の負担を軽減するアシストスーツ等を供給。農作物の生産性向上に貢献。	機械	4.4%
4	トプコン 3Dマシンコントロールシステムが、建機による建設工事の効率化に貢献すると予想。	精密機器	4.3%
5	日産自動車 自動車の自動運転に関して公道実験を開始するなど、実用化に向けて他社より一歩進んでいると考えられる点を評価。	輸送用機器	4.1%
6	ドンホーホールディングス 訪日客の来店が夜間を中心に増加傾向。外国人集客用ポイントカード（免税品の割引券）や消費税免税制度の拡充効果が発現。	小売業	3.9%
7	村田製作所 自動車の高機能化に伴い、電子部品の高付加価値化、数量の増加が見込まれる。当社は性能面、生産面で技術的優位性があると判断。	電気機器	3.7%
8	豊田通商 マグロの養殖で実績がある近畿大学と提携し、養殖の生産性向上に注力。食料資源の確保や食料自給率の改善に貢献すると判断。	卸売業	3.7%
9	富士電機 世界最大級の140MWを始め、国内外に約60台の地熱タービンを納入。タービンや発電機などの主要機器や関連機器等で技術と実績がある点に注目。	電気機器	3.7%
10	ハーモニック・ドライブ・システムズ 精密制御減速装置が介護向けロボットのコアパーツとして用いられており、ロボットの普及と共に需要が拡大すると予想。	機械	3.7%

(※) 組入比率は、日本未来戦略マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：株式運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本の未来図(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本の未来図(米ドル投資型)/(円投資型)
追加型投信/国内/株式

日本の未来図(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの基準価額の主な変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
- 換金時 換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社について

-2015年3月20日現在-

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	中国財務局長（金商）第20号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長（金商）第12号	○		○	

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

岡三アセットマネジメント株式会社 カスタマーサービス部

フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）